

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 向井 美紀

NO. 2 令和2年10月21日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

つくし学級 国語 「わたしはだれでしょう」

9月7日(月)



今回、つくし学級では「わたしはだれでしょう」クイズを国語のグループ学習で作り、つくし学級のみんなにクイズを出すことを活動の目標にして話し合いの学習を行いました。

どのようなヒントがよいか、アイデアを1人ずつ短冊に書き、その中からどのヒントにするのか、どの順番で出すのかを全員で話し合いました。今回のクイズの答えは動物で、体の特徴や食べるものをヒントとして出しました。出す順番につ

いても話し合い、自分の意見をしっかり相手に伝えようと理由を付けて発表していました。最後にめあてカードで自分のめあてを振り返り、主体的に活動に取り組めたかを自分で確認しました。

協議会では、話し合うことが2つあると大変なので、ヒントを3つに限定せず、順番を話し合うことに絞るとよいと講師の先生にご指導いただき、その後の授業の活動に生かすことができました。



3年1組 国語 「無人島で1週間すごすなら」

10月5日(月)



無人島で1週間すごすなら何をもっていか、16項目の持ち物リストの中から班の話し合いで5つ決めるという学習を行いました。大切なのは班のみんなが納得できるように話し合うことです。一人一人の意見をもとに付箋を操作し、比べたり、分類したりしながら考えをまとめていきました。

みんなで物事を決める時、ジャンケンや多数決など、様々な方法がありますが、より納得に近付けるためには、話し合いをして考えを伝え合うこと、そして、理由を添えて考えを伝えることの大切さに気付くことができました。また、話し合いを通して、自分の考えが変わっていく体験をしたり、お互いの考えの共通点から、相手の考えを尊重して折り合いを付けたりと、話し合うために大切なことを学ぶことができました。

これから、様々な場面で何かを決めていく時に、今回の学習で学んだことを生かしてほしいと思います。

